# 大学･高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
# 実施状況報告書

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 選定年度 | 令和5年度 | 学校コード | F113310102966 | 設置等組織名 | 獣医学部グリーン環境創成科学科 |
| 大学名 | 北里大学 | 設置区分 | 私立 | | |
| 学校種 | 大学 | 都道府県 | 東京 | 事業計画名 | 北里大学獣医学部グリーン環境創成科学科の設置 |

**１.年度別の計画及び取組状況**

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

| 事業期間 | 事業計画 | 取組状況 | 自己評価、課題（理由）とその対応 |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 1-① 令和5年6月　新学科人材育成のための社会ニーズ調査のための行政および地域企業との協議調整<br>1-② 令和5年6月　旧看護学部校舎の新学科対応校舎への改修を検討<br>1-③ 令和5年9月　社会における人材のニーズに関する協議を地域企業と実施<br>1-④ 令和5年9月　新学科学生確保に向けたニーズアセスメント調査<br>1-⑤ 令和5年10月 新学科教育体制の教員確保<br>1-⑥ 令和5年10月 新学科方針の策定<br>1-⑦ 令和5年10月 新学科教育体制とカリキュラムを検討<br>1-⑧ 令和6年2月　新学科入学試験要項を検討 | 1-① 令和5年6月　新学科人材育成のための社会ニーズ調査のための行政および地域企業との協議調整<br>1-② 令和5年6月　旧看護学部校舎の新学科対応校舎への改修を検討<br>1-③ 令和5年9月　社会における人材のニーズに関する協議を地域企業と実施<br>1-④ 令和5年9月　新学科学生確保に向けたニーズアセスメント調査<br>1-⑤ 令和5年10月 新学科教育体制の教員確保<br>1-⑥ 令和5年10月 新学科方針の策定<br>1-⑦ 令和5年10月 新学科教育体制とカリキュラムを検討<br>1-⑧ 令和6年2月 新学科入学試験要項を検討<br>1-⑨ 令和6年4月 文部科学省へ「学部の学科の設置」届出予定（R6.3.29）<br>2前-② 令和6年1月 新学科の教育研究に係る機器・什器などの整備品の検討（R6.3.29）<br><br>［改組内容］<br>令和５年11月 グリーン環境創成科学科の設置に関する事前相談を行い、令和6年1月 設置に関する事前相談の結果 届出「可」の通知を受け、令和6年4月に「学部の学科の設置」届出を行う計画である。<br>令和6年1月より新学科の改修工事計画に合わせ教育研究に係る機器・什器などの整備に関する検討をフェーズ１の期間に前倒しで始めた。 | 令和5年度自己評価　【３】計画を十分に実施している。 |
| 令和6年度 | 2-① 令和6年5月　新学科対応のための旧看護学部校舎改修<br><br>2-② 令和6年5月　新学科整備品の検討<br><br>2-③ 令和6年6月　新学科の広報を実施<br>2-④ 令和6年6月　取得可能な資格の検討<br>2-⑤ 令和6年8月　オープンキャンパスによる学科広報を実施 | 2-① 令和6年5月　新学科対応のための旧看護学部校舎改修<br>2後-① 令和6年11月 新学科対応のための旧看護学部校舎を改修（R7.3.24）<br>2-② 令和6年5月　新学科整備品の検討<br>2後-② 令和6年12月 新学科の教育研究に係る機器・什器などの整備品の検討（R7.3.24）<br>2-③ 令和6年6月　新学科の広報活動の実施<br>2-④ 令和6年6月　取得可能な資格の検討<br>2-⑤ 令和6年8月　オープンキャンパスにて学科広報を実施<br>2-⑥ 令和7年4月 新学科開設<br><br>【改組内容］<br>令和6年11月より行われている新学科校舎の改修工事に合わせ教育研究に係る機器・什器などの整備が令和7年6月となることからフェーズ2の期間の後倒しとした。 | 令和6年度自己評価　【２】計画を十分には実施していない。<br>新学科対応のための旧看護学部校舎改修及び機器・什器類の整備については、令和7年度内まで改修の工期が延長し、改修完了予定が令和７年６月となることから、事業計画の変更承認申請を令和７年３月に行い承認を受け、令和７年度に実施する変更をした。 |
| 令和7年度 | 3-① 令和7年4月 新学科の教員配置と研究室整備<br>3-② 令和7年4月 新入生を対象とした入学に関するアンケート調査の実施<br>3-③ 令和7年5月 新学科の広報を実施 | 2後-⑦ 令和7年6月　新学科対応のための旧看護学部校舎の改修完了（R7.3.24）<br>3-① 令和7年4月 新学科の教員配置と研究室整備<br>3-② 令和7年4月 新入生を対象とした入学に関するアンケート調査の実施<br>3-③ 令和7年5月 新学科の広報を実施<br><br>【改組内容］<br>令和6年11月より行われている新学科校舎の改修工事に合わせ教育研究に係る機器・什器などの整備が令和7年6月となることからフェーズ2の期間の後倒しとした。 | 令和7年度自己評価　【３】計画を十分に実施している。 |
| 令和8年度 | 3-① 令和7年4月 新学科の教員配置と研究室整備<br>3-③ 令和7年5月 新学科の広報を実施<br>3-④ 令和8年4月 新学科専門科目の準備と対応への取り組み<br>3-⑤ 令和8年4月 新入生を対象とした入学に関するアンケート調査の実施 | | 令和8年度自己評価　リストから選択してください。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 令和9年度 | 3-① 令和7年4月 新学科の教員配置と研究室整備<br>3-③ 令和7年5月 新学科の広報を実施<br>3-⑥ 令和9年4月 新入生を対象とした入学に関するアンケート調査の実施 | | 令和9年度自己評価 リストから選択してください。 |
| 令和10年度 | 3-① 令和7年4月 新学科の教員配置と研究室整備<br>3-③ 令和7年5月 新学科の広報を実施<br>3-⑦ 令和10年4月 新学科4年生への就職支援の取り組み<br>3-⑧ 令和10年4月 新入生を対象とした入学に関するアンケート調査の実施<br>3-⑨ 令和11年2月 第1回卒業生への教育・研究に関するアンケート調査の実施 | | 令和10年度自己評価 リストから選択してください。 |
| 令和11年度 | | | 令和11年度自己評価 リストから選択してください。 |
| 令和12年度 | | | 令和12年度自己評価 リストから選択してください。 |
| 令和13年度 | | | 令和13年度自己評価 リストから選択してください。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 令和14年度 | | | 令和14年度自己評価 リストから選択してください。 |
| 認可申請<br>又は届出 | 令和6年4月　獣医学部グリーン環境創成科学科（仮称）　学科の設置届出予定 | 令和6年4月　獣医学部グリーン環境創成科学科　学科の設置届出 | |
| 定員減又は<br>学部等の廃止 | 令和6年4月　獣医学部動物資源科学科　10人減員に係る届出予定（入学定員100人、農学関係）<br>令和7年4月　獣医学部動物資源科学科　10人減員予定（同上）<br>令和7年4月　獣医学部生物環境科学科　学生募集停止の予定（入学定員90人、農学関係）<br>令和11年3月　獣医学部生物環境科学科　学科廃止予定 | 令和6年4月　獣医学部動物資源科学科　10人減員に係る届出（入学定員100人、農学関係）<br>令和7年4月　獣医学部動物資源科学科　10人減員（同上）<br>令和7年4月　獣医学部生物環境科学科　学生募集停止（入学定員90人、農学関係）<br>令和11年3月　獣医学部生物環境科学科　学科廃止予定 | |

| フォローアップ対象年度 | 令和7年度 | 大学名 | 北里大学 |
|---|---|---|---|

**２.申請資格の確認**

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の〇の項目に該当している）

| 申請資格の状況 | ⅰ） | ⅱ） | ⅲ） | ⅳ） | ⅴ） |
|---|---|---|---|---|---|
| すべての項目に該当していない | | | | | |

**３.申請要件の取組状況**

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。□

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の〇の項目の要件を満たしていない）

| 申請要件の状況 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦-1 | ⑦-2 | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| すべての項目が要件を満たしている | | | | | | | | | | | | | | |

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

| 項目 | 課題（理由） |
|---|---|
| | |
| | |
| | |

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

| 申請要件⑭について | 現在の状況 |
|---|---|
| ⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。 | 認定を受けておらず申請する意向もない |

**４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況**

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

**【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）**

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
□ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

| 申請時の計画 | 取組実績、進捗状況 | 課題（理由）とその対応 |
|---|---|---|
| フェーズ１期間中に協議を行う予定の相模原市やJA相模原市など民間企業等と協力し、PBL型授業の導入を中心に教育体制の整備を計画する。相模原市は「さがみはら脱炭素ロードマップ」を策定し、様々な脱炭素に向けた取り組みを推進しており、関連部署による脱炭素の施策や関連法規に関する授業と諸問題に対してPBL型授業の実施を計画する。一方、JA相模原市はスマート農業や有機農業など食料生産に係る組織であることから、新しい分野に直結した実践的な教育体制の整備を推進する。一例として、カーボンニュートラルに向けた食料生産に関するプロジェクト運営などを通して、アカデミックスキルズや職業上でのコミュニケーション力を修得させることを検討する。これらの取り組みのほか、農業関連企業や相模原市以外の自治体と人材養成の情報共有や連携を推進し、インターンシップなど実践的な教育機会を積極的に取り入れることで、教育効果を高めていく計画である。 | 令和7年度において、農業系企業（JA横浜）、建設系企業（東急建設株式会社）、環境系企業（いであ株式会社）、IT系企業（株式会社パスコ）と人材ニーズに関する協議を実施した。協議の結果、民間企業では環境負荷低減への関心が高く、将来的に環境関連業務の増加が見込まれていることが確認された。一方で人材採用にあたっては、農業や工学など従来の専門分野に関する知識・技術を有する人材を重視しているとの回答が得られた。また令和8年度から開講するPBL型授業については、相模原市と協議を行った結果、市民協働推進課を窓口として農政課、廃棄物政策課、ゼロカーボン推進課、水みどり環境課との連携で実施することが決定した。PBL型授業を「環境法規と倫理」の授業で実施することとしたことから、環境保全型農業を推進している株式会社西部開発農産とも連携して進めることとした。連携先と打ち合わせを行い、シラバスを作成した。農政課、廃棄物政策課、ゼロカーボン推進課、水みどり環境課、および西部開発農産から現在進めている取り組みや解決すべき課題についての授業に基づいてレポートを作成すると共に、グループで意見交換をした上で取り組みを推進する、あるいは課題を解決するための方策について発表する予定である。 | 令和8年度に開講するPBL型授業は、学生による授業アンケートに基づいて令和9年度以降の改善案を検討する。また、それらを連携先と共有することで、継続して展開することを計画している。さらに、令和9年度から開講予定であるインターンシップ実施に備えて、相模原市やその周辺自治体や民間企業との連携を強化する。実務教員の招聘、PBL型授業、インターンシップにより社会ニーズを反映した教育を推進することを計画している。 |

**【B：多様な入学者の確保に向けた取組】**

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
□ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

| 申請時の計画 | 取組実績、進捗状況 | 課題（理由）とその対応 |
|---|---|---|
| 毎年5月には地域の高等学校の進路指導教員に対して学部学科説明会を実施し、また業者主催の進学相談会を６月から９月まで10回程度実施する。さらに広報活動、高校訪問、オープンキャンパスの際にも進学相談会を実施し、新学科の教育の特色と魅力を説明し、入学者の確保に努める。<br>これまで受験生を推薦してきた農業分野の実業高校、北里大学が高大連携の協定を結んでいる提携高校、特に女子高（田園調布学園中等部・高等部、カリタス女子中学高等学校、東京女学館中学校・高等学校、山脇学園中学・高等学校など）に対して、出張講義やサマースクールなどを実施し、総合型選抜や指定校推薦入試を計画するなど学生確保に向けた取り組みを実施する。これらにより女子学生の確保と地域の中学校や高等学校との連携の実現を目指す。さらに、グリーン成長分野のICTやIoTを利用したシステムは実社会で活用できる技術であるため、社会人に対する知識と技術のリスキリング教育にもつなげることができる。 | 令和7年度は、学科広報活動として、学部・学科説明会（5月）、オープンキャンパス（3・7・8月）、学科教員による講演会（11月）、高校訪問（6・7月）を実施し、学科の教育内容について説明を行った。また、高校ガイダンスおよび出張講義を6件、系列校における研究指導1件を実施した。その結果、年内入試の志願者数は前年の14名から21名へ増加した。さらに、女子の理系進学を推進するために設置された総合型選抜女子特別枠についても、令和6年度および令和7年度ともに4名の志願者があった。これらの取組により、令和8年度4月時点で概ね学科定員を充足することができた（定員充足率92%）。また、多様な人材の受け入れを目的として、社会人特別選抜試験および編入学者選抜試験の募集を開始した。これらの選抜試験への志願者はなかったものの、リモートセンシング技術に対する社会的需要の高まりを踏まえ、社会人のリカレント教育およびリスキリングに対応するため、必要な機材や教育体制の構築に向けた調査を実施した。 | 令和8年度はさらなる志願者数の増加を目指し、指定校の見直しを行うとともに広報活動の強化を図る。具体的には、高校訪問の増加や学科独自のオープンキャンパスの開催を実施するほか、系列校との連携を一層強化していく予定である。 |

| 大学名 | 北里大学 |
|---|---|

| 本事業対象となる学部等の個数 | 1 |
|---|---|

## １.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

| 改組内容 | 既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの） |
|---|---|
| 学部学科名 | 獣医学部グリーン環境創成科学科（農学関係） |

| 大区分 | 小区分 | 項目 | 単位 | 年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | R12年度 | R13年度 | R14年度 | R15年度 | R16年度 | R17年度 | R18年度 | R19年度 | R20年度 | R21年度 | R22年度 | R23年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 改組状況 | 選定 | 届出 | 開設 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 事業計画に定める定員 | 入学定員 | 人 | | | 100 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 編入学定員 | 人 | | | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学生の入学・在籍状況 | 春季入学 | 入学定員 | 人 | - | - | 100 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数 | 人 | - | - | 90 | 92 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女子学生数 | 人 | - | - | 29 | 36 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 社会人学生数 | 人 | - | - | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 留学生数 | 人 | - | - | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他の学期 | 入学定員 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女子学生数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 社会人学生数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 留学生数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 入学者合計 | 入学定員(A) | 人 | - | - | 100 | 100 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数(B) | 人 | - | - | 90 | 92 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女子学生数 | 人 | - | - | 29 | 36 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 社会人学生数 | 人 | - | - | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 留学生数 | 人 | - | - | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学定員充足率（B/A） | 倍 | - | - | 0.90 | 0.92 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 収容定員等 | 収容定員(C) | 人 | - | - | 100 | 200 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 編入学定員 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 在籍者数(D) | 人 | - | - | 111 | 202 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 編入学者数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 収容定員充足率（D/C） | 倍 | - | - | 1.11 | 1.01 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 卒業後の状況 | 卒業者数 | 卒業者数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教員の状況 | 実務経験のある教員の参画 | 教員数 | 人 | - | - | 0 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 授業科目の単位数 | 単位 | - | - | 0 | 24 | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 大学名 | 北里大学 |
|---|---|

## ２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

| 大区分 | 小区分 | 項目 | 単位 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | R12年度 | R13年度 | R14年度 | R15年度 | R16年度 | R17年度 | R18年度 | R19年度 | R20年度 | R21年度 | R22年度 | R23年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学生の入学･在籍状況 | 春季入学 | 入学定員 | 人 | 833 | 833 | 833 | 833 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数 | 人 | 834 | 890 | 875 | 909 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女子学生数 | 人 | 345 | 366 | 389 | 435 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 社会人学生数 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 留学生数 | 人 | 22 | 29 | 21 | 13 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他の学期 | 入学定員 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女子学生数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 社会人学生数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 留学生数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 入学者合計 | 入学定員(A) | 人 | 833 | 833 | 833 | 833 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数(B) | 人 | 834 | 890 | 875 | 909 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女子学生数 | 人 | 345 | 366 | 389 | 435 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 社会人学生数 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 留学生数 | 人 | 22 | 29 | 21 | 13 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学定員充足率（B/A） | 倍 | 1.00 | 1.07 | 1.05 | 1.09 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 収容定員等 | 収容定員(C) | 人 | 3,272 | 3,372 | 3,202 | 3,422 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 編入学定員 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 在籍者数(D) | 人 | 3,318 | 3,430 | 3,393 | 3,621 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 編入学者数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 収容定員充足率（D/C） | 倍 | 1.01 | 1.02 | 1.06 | 1.06 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 卒業後の状況 | 卒業者数 | 卒業者数 | 人 | 695 | 649 | 676 | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教員の状況 | 実務経験のある教員の参画 | 教員数 | 人 | 143 | 156 | 114 | 147 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 授業科目の単位数 | 単位 | 298 | 349 | 311 | 394 | | | | | | | | | | | | | | | |

| 大学名 | 北里大学 |
|---|---|

## ３.大学（学士課程）の状況

| 大区分 | 小区分 | 項目 | 単位 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | R12年度 | R13年度 | R14年度 | R15年度 | R16年度 | R17年度 | R18年度 | R19年度 | R20年度 | R21年度 | R22年度 | R23年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学生の入学･在籍状況 | 春季入学 | 入学定員 | 人 | 1783 | 1944 | 1924 | 1924 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数 | 人 | 1817 | 1962 | 1947 | 1942 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他の学期 | 入学定員 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 入学者合計 | 入学定員(A) | 人 | 1,783 | 1,944 | 1,924 | 1,924 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学者数(B) | 人 | 1,817 | 1,962 | 1,947 | 1,942 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 入学定員充足率（B/A） | 倍 | 1.02 | 1.01 | 1.01 | 1.01 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 収容定員等 | 収容定員(C) | 人 | 7811 | 8078 | 8055 | 8423 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 編入学定員 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 在籍者数(D) | 人 | 8032 | 8208 | 8280 | 8609 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 編入学者数 | 人 | - | - | - | - | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 収容定員充足率（D/C） | 倍 | 1.03 | 1.02 | 1.03 | 1.02 | | | | | | | | | | | | | | | |

## ４.外部資金の状況（全学）

| 項目 | 単位 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | R12年度 | R13年度 | R14年度 | R15年度 | R16年度 | R17年度 | R18年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 改組状況 | | 申請−5年 | 申請−4年 | 申請−3年 | 申請−2年 | 申請−1年 | 選定 | | 開設 | | | | | | | | | | | |
| 外部資金獲得額 | 千円 | 1,212,606 | 1,462,407 | 1,142,892 | 1,111,668 | 1,419,556 | 1,352,228 | 1,391,082 | | | | | | | | | | | | |

| 項目 | 単位 | |
|---|---|---|
| 申請時点の外部資金獲得額平均<br>（過去5年間における各年度の外部資金獲得額 | 千円 | 1,258,351 |
| 本事業による助成金の額(F) | 千円 | 1,195,000 |
| フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額<br>(E+F×2.5%) | 千円 | 1,288,226 |

## 特記事項

・様式1-4「１.本事業対象となる学部等の状況」における入学者数と在籍者数の相違について、在籍者数には改組前の旧学科からの転学科者を含んでいる。
・“２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況”における“社会人学生数”は、社会人入学者選抜試験での入学者数を記載（本学学部入学者選抜試験時は、受験生本人の“職歴”等の記載を求めていないため）。